

奈良県の特徴を生かして

地元産材と伝統技能を用いた製作
～挽(ひ)き曲げ法を用いた木材加工～

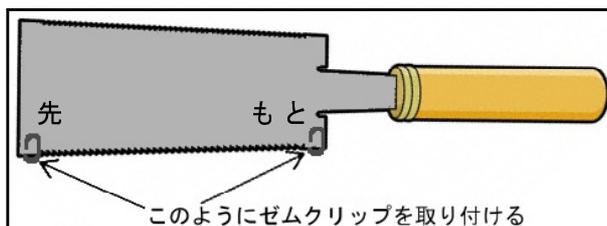
中学校技術・家庭科技術分野の取組

※1 挽き曲げ法について

挽き曲げ法とは、木材の曲げようとする面の内側にのこぎりで数本のひきみぞを入れて曲げる方法です。木材の厚さ1～2mmを残してみぞを入れます。

※2 作業しやすくするための工夫

授業ではひきみぞを入れる際、慎重に作業しないと、深く切り込みすぎて木材を切断してしまう恐れがあります。また、みぞが浅いと曲げにくい上に、無理に曲げようすると割れてしまいます。そこで、適切な深さで均一なひきみぞを入れやすくするために、のこぎりに少し工夫を加えています。のこぎりの刃の先とともに図のようにゼムクリップを取り付け、机の上が傷つかないように敷いた、広い平らな板の上に木材を置き、のこぎりをひきます。両方のゼムクリップが下に敷いた板の面に当たるまでひいていけば、ゼムクリップで刃が浮いた分の厚みを残して木材にひきみぞを入れることができます。ちょっとしたことですが、このアイデアのおかげで格段に



ひきみぞが入れやすくなります。

又、木材を曲げる前に水や温湯に浸しておくとも柔らかくなり、さらに曲げやすくなります。